



ラッキーナスビ2.5



「宮崎のための仕事」を考える

3年生による研究発表会

総合的な学習の時間では、「君たちは宮崎のためにどう生きるか」をテーマに、各学年が探究活動に取り組んでいます。3年生が「新しい仕事を創造する探究活動」に取り組んでいます。

このテーマには3つの想いが込められています。「君たちは」には、学校の中はもちろん、学校外の方々とも協力して探究を進めていこうという想いが、「宮崎のために」には、自分たちのふるさと宮崎を、そして宮崎で生きる人々を幸せにできるような探究活動をしようという想いが、「どう生きるか」には、この探究活動を通して自分自身のキャリアを考えていこうという想いがそれぞれ込められています。

人工知能の発達等により、今ある仕事の半数程度がなくなっていくと言われています。このことは、言い換えれば、「将来、新たな仕事をどんどん創造できる可能性が広がっている」とも言えます。

3年生の生徒たちは、自分が興味をもっている仕事、将来就きたいと思っている仕事を分析したうえで、その仕事をどのように創造することができ、創造が宮崎のどのような人々たちのため



自分のキャリアを切り拓いていく力を鍛えよう

になるのかを考えています。

この探究活動の（ひとまずの）ゴールは「自分が創造した仕事をするためには、どのようなキャリアを歩むべきかを考え、実現するために行動していくこと」にあります。

このような探究活動を通して、3年生の生徒たちは、いったい、どのようなキャリアを歩んでいこうと考えるようになったのでしょうか。

社会に発信するチャンス!

今回の研究発表会には、学校外から講師の方々に来ていただきました。宮崎県商工会議所連合会、教育・研修プランナー、教育情報サービス、宮崎大学医学部附属病院、善仁会病院、宮崎銀行から来ていただいた講師の方へ向けて研究発表を行いました。

今回の発表会は、自分の研究を社会に発信するチャンスであり、社会からの評価をもらうチャンスでもありました。生徒たちは今回の研究発表会で得た学びをもとに、さらに研究論文を改善していきます。「完成したと思ったら、また課題が見つかったら、またまた課題が見つかったら」という探究のサイクルを経験した生徒たちは、きつことからのキャリアを自分の力で切り拓いていくことができるでしょう。

生徒たちがどのように研究を深めていくのか、これからも楽しみにしていきたいものです。

自分の将来にどこか他人行儀だった自分が変わった気がした。

研究発表を終えた生徒たちのふりかえりをごらんください。探究は、これからもまだまだ続きます。

夏休みから研究してまとめて、そこから授業で修正したり、大学生や高校生の先輩方の貴重な話を聞くことができたり、3年生になりたてだった自分には考えることができなかった仕事に対するイノベーションの仕方を、この半年で大きく学んだ気がした。各教科でも使ってきたKP法で、この半年間学んだ研究の成果をまとめて、7分間という長いようで短い時間を使って発表することができた。私はスクールカウンセラーという仕事に出会って、今まで自分になかった将来を見据える力や将来に対する考え方が少し変わった気がした。自分の将来にどこか他人行儀だった部分があった私だが、この研究を通して自分の新たな可能性を知ることができてよかった。

10月23日(火)13時30分より 公開研究会を開催します。

今回の研究発表会を経て、4名の学年代表を決定します。その4名は今月23日(火)に開催される総合的な学習の時間の公開研究会で発表します。詳しい日程については裏面をごらんください。生徒の発表はもちろん、研究協議にもお気軽にご参加ください。保護者の視点からのご意見をお聞かせいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。